

リプロセス

患者さん・医療従事者の皆さまに医療機器を安全にご使用いただくためのリプロセス強化の取り組み

オリンパスは内視鏡医療の長い歴史を通じ、診断領域から治療領域にわたって高性能な医療技術の提供を実現してきました。また、オリンパスは医療従事者の皆さまと共に実現させる内視鏡医療の進歩が先進的な患者さんのケアにおいて重要な役割を果たすと信じています。

一方、内視鏡に関連した感染事例の報告があったことから、リユース内視鏡を安全かつ効果的にご使用いただくための重要な要素である内視鏡リプロセス（洗浄、消毒、および/または滅菌）に対して、行政や病院からの注目が集まっています。

加えて、近年新種の細菌やウイルス、具体的には多剤耐性菌や新型コロナウイルスが登場しています。患者さんの安全性の確保のためにオリンパスは感染対策における重要な役割を果た



内視鏡洗浄消毒装置の新製品を中国、アジアの一部地域にそれぞれ導入

すとともに、医療従事者の皆さまに安全で効果的な製品およびリプロセスに関する情報をタイムリーに提供するための努力を続けています。



全世界的な感染問題への迅速な対策を行う専門チームを設立

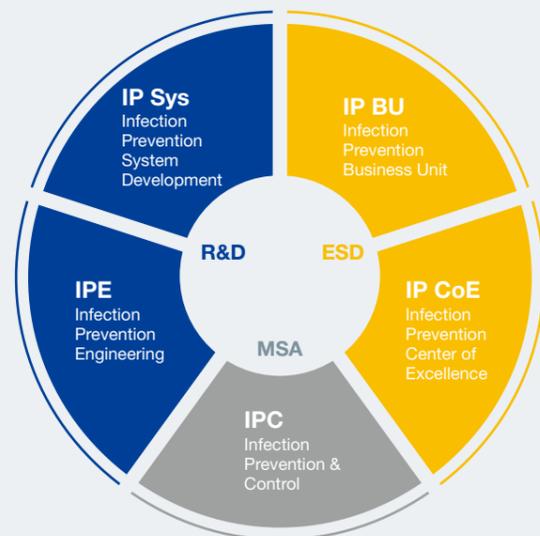
2021年12月に発表した医療分野における戦略的な方針において、感染対策を事業の柱の一つとし、オリンパスはコミットメントを明確にしました。その実現に向け社内では、事業活動においてのみならず、研究開発やメディカル&サイエンティフィック アフェアーズ (MSA) などの各領域が密接に連携しながら感染対策にフォーカスするための組織改革を行っています。

新設されたIP CoEは、内視鏡を介した感染のない未来を目指し、患者さんの安全を確保するために、感染対策に関わるビジネスユニット・開発・MSA機能を横断する課題に対してプロアクティブに活動できるようリードし、感染対策の取り組みのビジョンを明確にします。

IP CoEのビジョン・リードの下、ビジネスユニットのIP BUではオーガニックだけでなく、インオーガニックな成長に向けた事業活動を展開します。開発部門に属するIP Sys/IPEでは、自社内視鏡や自社洗浄消毒装置に関するリプロセスの効率性を向上させることを目指す次世代の内視鏡自動洗浄消毒装置の開発および、リプロセスにおける設計の妥当性の確立、自社製品の安全性をより一層高めるための新たな技術やリプロセス方法

の研究開発を行っていきます。

最後にMSA部門に属するIPCでは社内外のステークホルダーに対し、感染対策のノウハウや専門知識の啓発教育など科学的根拠に基づくアプローチを行います。



社内外ステークホルダーへの啓発・教育活動

オリンパスは医療従事者の皆さまをサポートするために感染対策に関する専用Webサイトを開設しました*。このプラットフォームを通じ、感染対策、微生物学、リプロセス工程、製品ごとのリプロセスに必要な機材や各種ガイダンスに関する情報のみならず、データ主導の実践的なアドバイスとeラーニングやVideo Reprocessing Guideといった動画教材なども提供しています。医療従事者の皆さまが常に感染対策に関する最新の情報にアクセスできるよう努めています。

*2022年9月時点において、このWebサイトは日本を含む一部の国の医療従事者に対しては公開しておりません。順次対象国を拡大し情報提供してまいります



詳しくはWEBをご覧ください <https://infectionprevention.olympus.com/en-us/>

COLUMN



最新の十二指腸内視鏡への置き換え活動

医療従事者の皆さまが内視鏡先端回りの複雑な構造をより見やすく、より洗いやすくする工夫がなされた先端キャップ着脱式の十二指腸内視鏡を、2019年に欧州、アジアに、2020年春に米国に導入しました。感染対策の取り組みを一層進めるべく、これまでの十二指腸内視鏡を新しい先端キャップ着脱式の十二指腸内視鏡に置き換える活動をグローバルで自主的に推進しており、今後さらに置き換えを強化していきます。

また、新しい先端キャップ着脱式十二指腸内視鏡に置き換えたお客様はもちろん、お客様が使用されているすべての十二指腸内視鏡モデルに対応した、十二指腸内視鏡のリプロセス方法に関する集中トレーニングを展開しています。

十二指腸内視鏡のリプロセス向上に向けた取り組みの一例：ユーザーマニュアルの改訂

十二指腸内視鏡は他の内視鏡と比べ内視鏡先端部の構造が複雑なため、洗浄の手順が多く存在します。洗浄手順をより分かりやすく表現し、洗浄作業のミスを減らすため、ユーザーマニュアルの改訂を実施しています。ユーザーマニュアルではこれまでの表記方法を全面的に見直し、カラー表示、イラストの多用、分かりやすいアイコン・シンボルの採用、より具体的な作業手順への表記変更などを取り入れ、リプロセスステップを誰もが理解できるように改訂を行っています。

